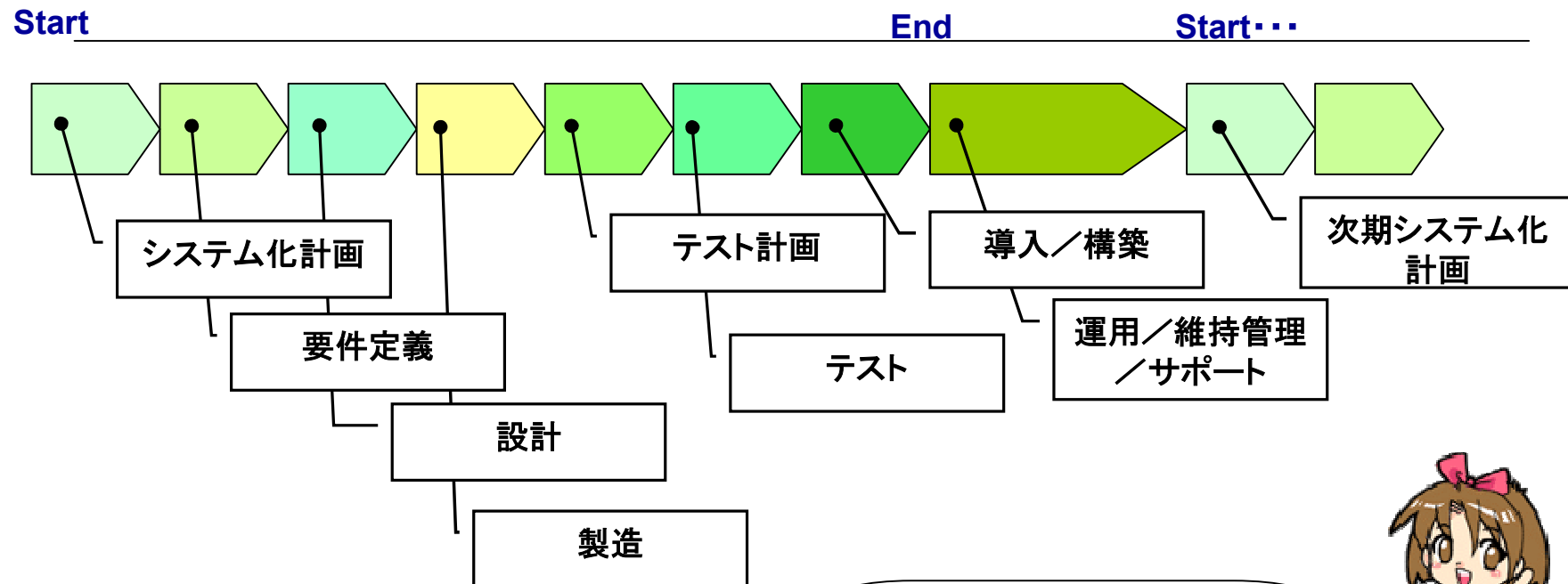


ソフトウェア開発技術者を目指す方に

ソフトウェア開発技術者に求められること

1. システム開発のプロセス
2. ソフトウェア開発技術者に求められるもの
3. コミュニケーション能力
4. 常に問題解決能力を磨く
5. プライド・責任
6. 3つのキーワード
7. 仕事への向かい方
8. 問題解決プロセス(例)
9. 自分のサービスメニューを作る

- プログラム作成がすべてではありません
 - ◆ システム開発は設計やプログラム作成を行うだけではなく、たくさんの工程(過程)を経て行われます。



設計とか、プログラムは全体の中のほんの一部でしかないのです。



- 顧客へのソリューション提供
- 問題解決能力

絶え間ない学習と、新しい技術に挑戦し、問題解決能力を伸ばす
自分の根となる技術を持つことが重要

論理的思考能力
技術的知識・経験
コミュニケーション能力
提案力
リーダーシップ
行動力
セルフマネジメント力

- 開発者であることを常に意識
 - ◆ やったことの無いことをやり遂げるのが「開発者」
 - ★ 「やったことはありません」と言い訳しない

常に新しい課題への問題
解決能力を磨くことが大切



■ ソフトウェア開発は多くのメンバーが携わる共同作業

意思の疎通がなければ、思い通りの設計・製造が行われ、とんでもないソフトウェアが出来てしまいます。

- ・報告、連絡、相談を密にして、自分が何をやっているのか、どう思っているのかを上司に把握してもらう。
- ・周りのメンバーが何を、いつまでやっているのか理解し、認識を共にする。
- ・決められた手順と様式を守ることで、共通の言葉で話し合いができるようにする。
- ・積極的に会話し、人間的に信頼しあう。

■ ソフトウェア開発は作るだけで終わりではない

ソフトウェアは開発が終わったあとも、維持管理、次の開発と続いていきます。
次にソフトウェアに携わる人に分かるように設計・製造しましょう。

- ・決められた手順と様式を守ることで、共通の言葉で話し合いができるようにする。

ひとつの誤解が、いくつものミスとやり直しを伴います。
コミュニケーション能力は、ソフトウェア開発者の必須能力です。

ソフトウェア開発は多くのヒトが協力して行う作業。コミュニケーションもとても大切です。お客様とのコミュニケーションは特に大切。



■ 変わっていく技術に対応する

- ・コンピュータの技術はドッグイヤーと言われ、数ヶ月というスパンで新しい技術が登場します。携わる開発で求められる技術が自分の知っているものとは限りません。

⇒挑戦する心を忘れずに、新しい技術に挑戦してください。

⇒どんな新しい技術に直面しても、挑戦できるように勉強していくことが大切です。自己投資を惜しまず、新しい技術を学びつづけてみましょう。

■ 変わらない技術を自分のものにする

- ・コンピュータ上で表現するための言語や、設計技法が変わっていても、根底に流れる考え方は変わりません。

⇒自分の基礎となる技術をひとつ身に付けて、その技術を母体にして新しい技術に挑戦しましょう。

■ 問題を解決する能力

- ・ソフトウェア開発は常に未知の問題との出会い、問題を解決する能力が求められる。

⇒どんなシステム開発業務に携わっても、それらの課題を通じて問題解決能力を磨いていきましょう。

ずっと、新しいことにチャレンジするって大変なことだけど、とても大事なことです。



■ お客様の要望にこたえる


- ・利用者の要望の実現する
- ・利用者の言外の要望を具体化し、実現する

⇒実現出来るのは、またシステムのことを一番理解しているのはソフトウェア開発者である。
そのことをソフトウェア開発者のプライドとして持ち、中途半端な仕事はしないようにしましょう。

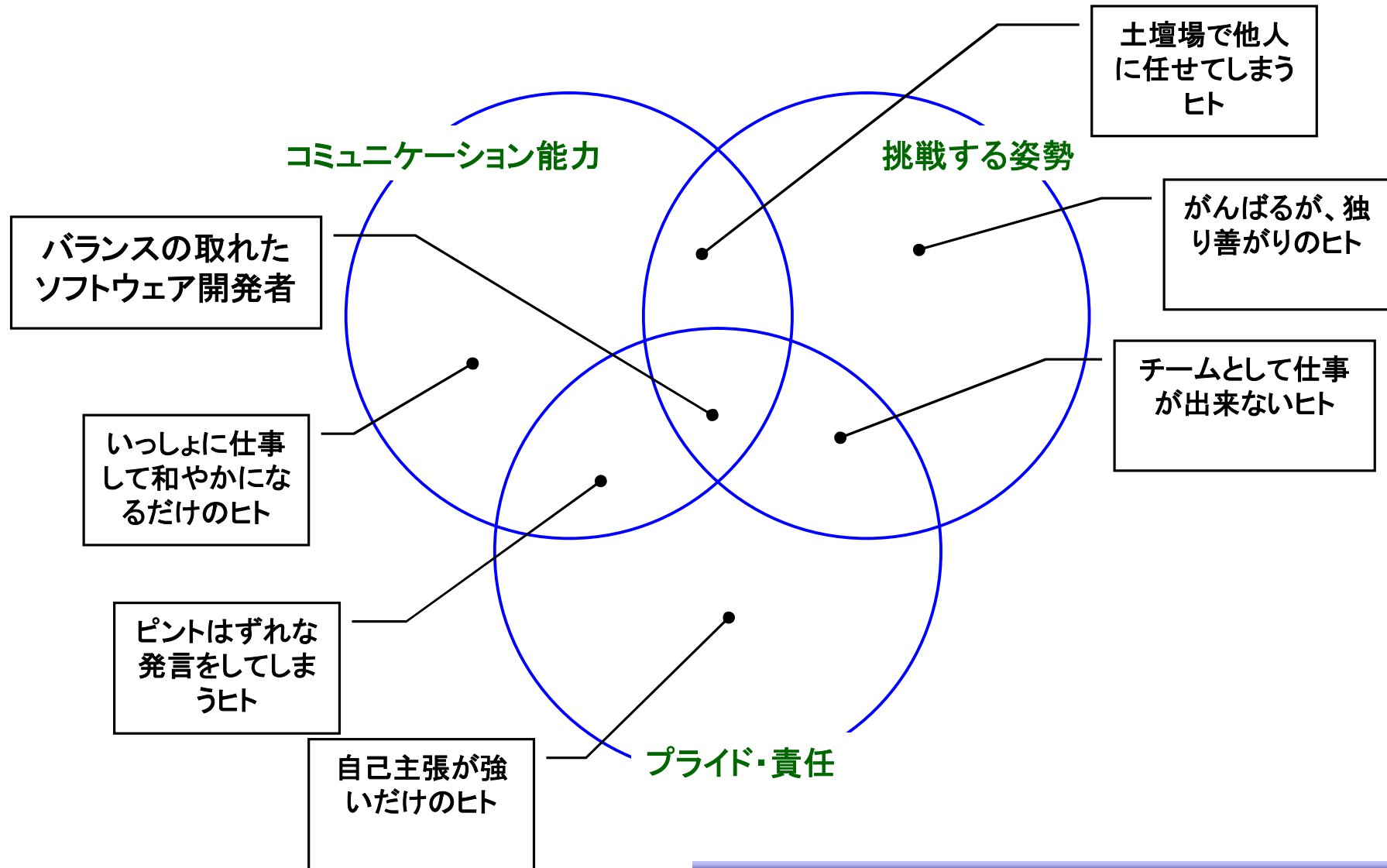
■ ソフトウェア開発者の責任とは

- ・利用者の利益を増やすのか、損なうかは自分次第であること
- ・社会は利用者がソフトウェアを信頼して成り立っていること
- ・自分がソフトウェアを一生涯メンテナンスするわけではないこと
- ・自分以外に大勢がソフトウェア開発に携わっている人たちに迷惑をかけること
- ・自分以外のソフトウェア開発に携わっている人たちの信頼を守ること

⇒ソフトウェア開発者が社会基盤の重要な部分を作っていることを意識して
責任を持って仕事をしましょう。



プライドと責任をもって、
自分が恥ずかしくない仕事
を心がけましょう。

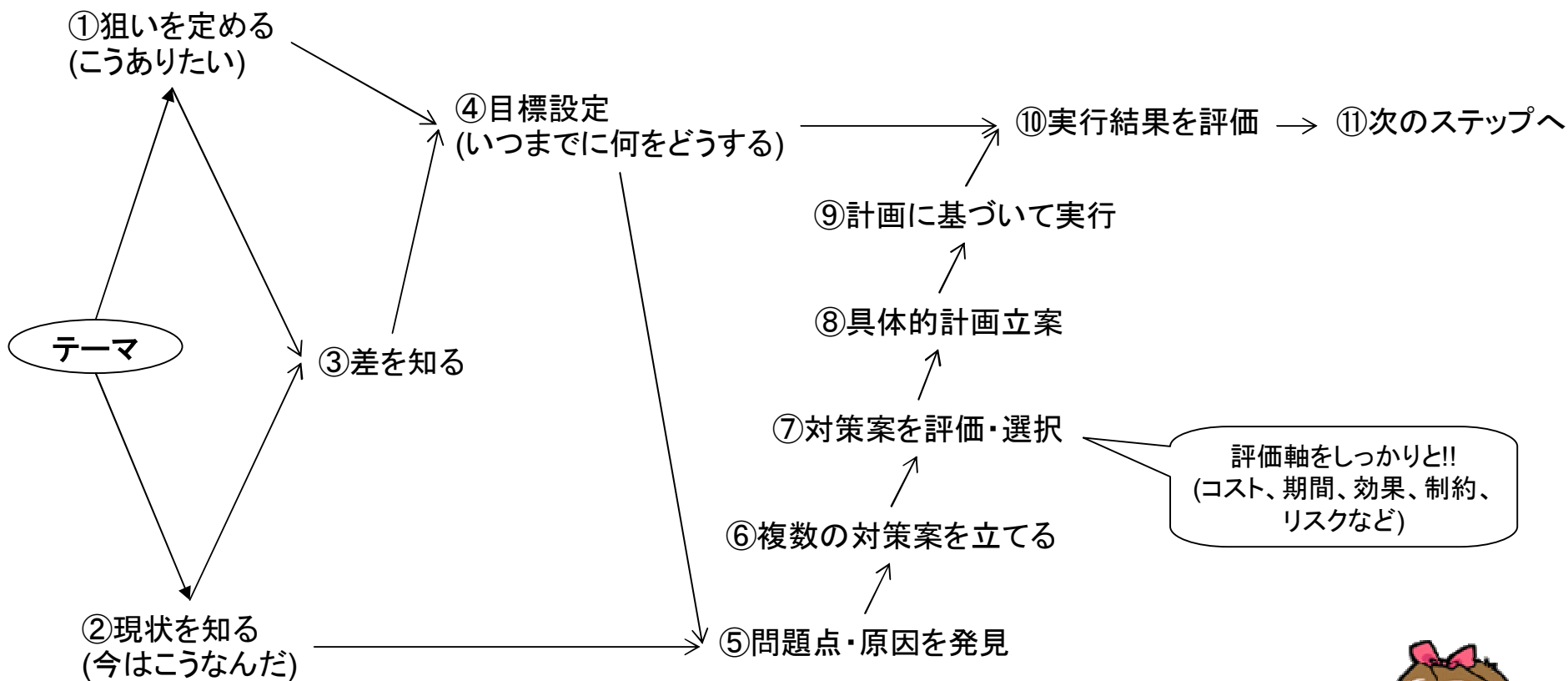


- 仕事を受けるとき
 - ◆ 目的
 - ◆ 期待される成果
 - ◆ 提供形態(口頭, ドキュメント, システム, その他の形態)
 - ◆ いつまで
 - ◆ どこに
 - ◆ だれに
 - ◆ 制約条件は(cost, 体制, 他の資源)

- 仕事をはじめたら常に報・連・相
 - ◆ 報告
 - ◆ 連絡
 - ◆ 相談

- 仕事の完了
 - ◆ 提供物件、期限等が要求されたものを満たしているか確認

8. 問題解決プロセス(例)



評価軸をしっかりと!!
(コスト、期間、効果、制約、
リスクなど)

案は常に複数用意しましょう。



- 私のサービスメニューを持ちましょう
 - ◆ 自分が人に、企業にどんなサービスを提供できるか
 - ◆ いま、私にはどんなサービスメニューがあるか
 - ◆ これからどんなサービスメニューを追加してゆくか
 - ◆ そのためには仕事をどんなチャンスとして活かすか

